

岡垣町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和2年3月

【令和3年8月改訂版】

岡垣町

目次

I 策定趣旨

1. 策定趣旨	1
(1) 総合戦略の目的・位置づけ	1
(2) 総合戦略の計画期間	1
2. 国の総合戦略の示す方向	2
(1) 地方創生の目指すべき将来	2
(2) 施策の方向性	2

II 人口ビジョン（将来人口）概要

人口ビジョン（将来人口）概要	3
----------------------	---

III 戦略の基本方向

1. 基本的視点	4
(1) 総合戦略の基本的視点	4
(2) 総合戦略の推進のために	4
2. 戦略の評価・管理	5

IV 戦略施策

1. 施策体系	6
2. 戦略施策	7
(I) 新しい人の流れをつくる	7
(II) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	9
(III) 地場産業を活性化するとともに、安心して働けるようにする	11
(IV) 安心して暮らすことができる地域をつくる	14

I 策定趣旨

1. 策定趣旨

(1) 総合戦略の目的・位置づけ

岡垣町まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)は、岡垣町における人口の将来展望を踏まえ、本町の「まち・ひと・しごと創生」に向けた目標や戦略の基本方向、具体的な施策及び数値目標をまとめたものです。

総合戦略は、住民をはじめ多くの学識経験者の多様な意見を反映して策定した、まちの未来計画(第6次総合計画 令和 3～12 年度)(以下「まちの未来計画」という。)を基に、人口減少社会に対応するため、「まち・ひと・しごと創生」に資する施策の重点化を図るものとして策定しており、社会経済情勢や住民ニーズに的確かつ柔軟に対応できるよう、必要に応じて改訂することとします。

(2) 総合戦略の計画期間

総合戦略は、まちの未来計画の中間評価の実施年度を考慮し、令和 2(2020)年度から 7(2025)年度までの 6 年間における、人口ビジョンの将来展望を実現するための目標や戦略の方向性、具体的な施策、数値目標を設定します。

2. 国の総合戦略の示す方向

(1) 地方創生の目指すべき将来

- ①将来にわたって「活力ある地域社会」の実現
 - ・人口減少を和らげる
 - ・地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する
 - ・人口減少に適応した地域をつくる
- ②「東京圏への一極集中」の是正

(2) 施策の方向性

将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京圏への一極集中」の是正を共に目指すため、4つの基本目標と2つの横断的な目標の下に取り組むこととする。

- 【基本目標1】 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
 - ・地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現
 - ・安心して働ける環境の実現
- 【基本目標2】 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
 - ・地方への移住・定住の推進
 - ・地方とのつながりの構築
- 【基本目標3】 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ・結婚・出産・子育てしやすい環境の整備
- 【基本目標4】 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
 - ・活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保
- 【横断的な目標1】 多様な人材の活躍を推進する
 - ・多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
 - ・誰もが活躍する地域社会の推進
- 【横断的な目標2】 新しい時代の流れを力にする
 - ・地域における Society 5.0 の推進
 - ・地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり

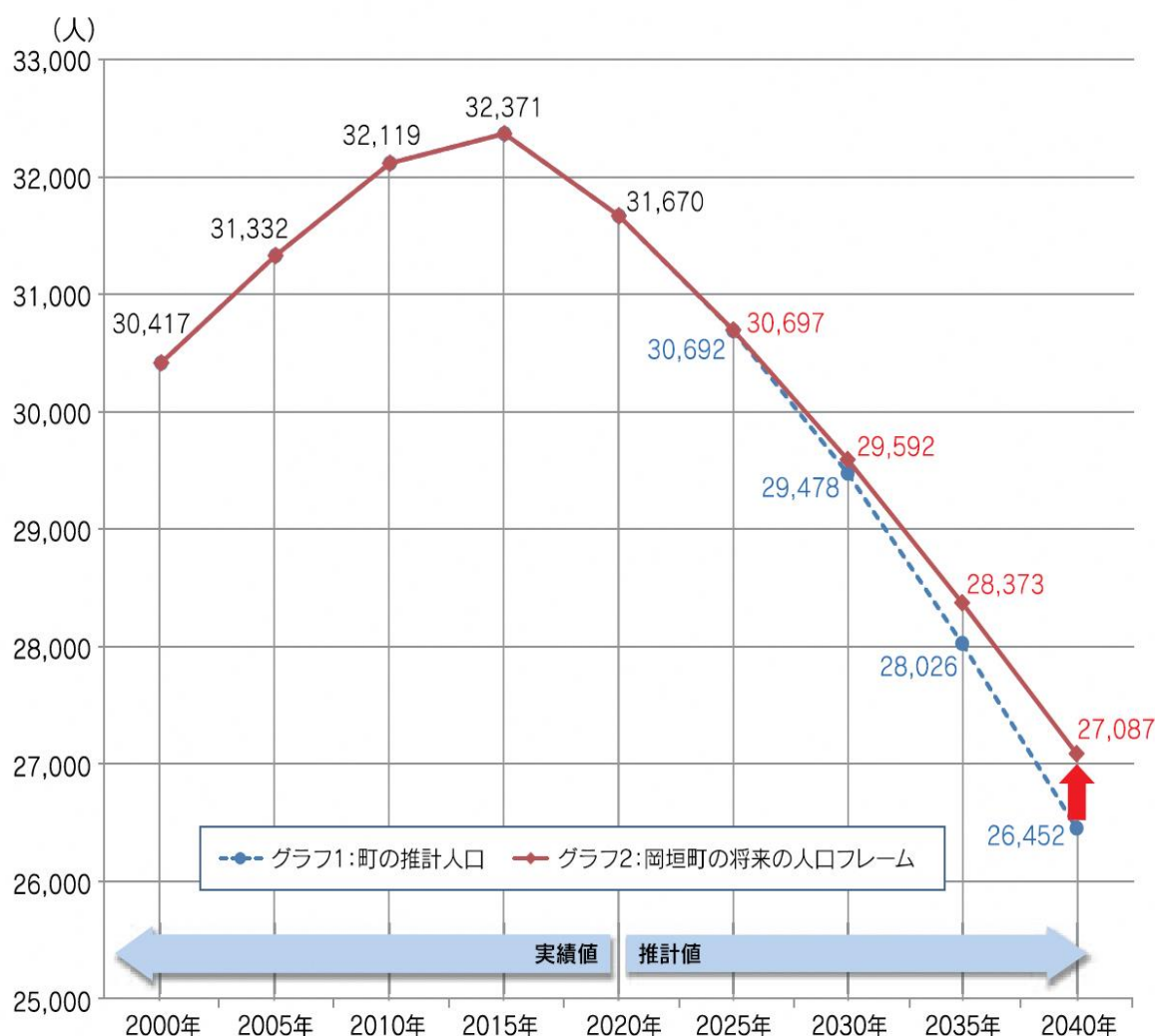
II 人口ビジョン(将来人口)～

本町の将来人口を推計すると、下図のグラフ1に示すように、2020(令和2)年の人口31,670人と比較し、10年後の2030(令和12)年には3万人を下回る見込みです。

また、20年後の2040(令和22)年には、約26,000人まで減少するなど、国の将来人口推計の傾向と同様に、人口減少が進むこととなります。

これからの人口減少社会を見据えた持続可能なまちを目指し、あらゆる施策を着実に実行することで、町への転入の促進や出生率の向上を図り、20年後の2040(令和22)年に27,000人を達成できる人口を目標とします。

■本町の将来人口推計



※2010年までは国勢調査人口、2015年と2020年は住民基本台帳に基づく実績値
2025年以降は住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計値
国勢調査人口は10月1日現在。住民基本台帳人口は3月末。

Ⅲ 戦略の基本方向

1. 基本的視点

(1) 総合戦略の基本的視点

令和2年度に町の最上位計画として策定したまちの未来計画に即した総合戦略とします。

【まちの未来計画における目指す町の将来像】

本町は、豊かな自然環境に恵まれています。この環境は、住民が住みやすいと感じる町の魅力となっており、町への愛着の形成にもつながっています。

この豊かな自然によりもたらされたおいしい水、食の恵み、子育て環境、住民のふれあいなどがある暮らしは、「岡垣らしい しあわせ」と言えます。

人口減少に対応した持続可能なまちづくりへの転換が求められる中であっても、将来にわたり「岡垣らしい しあわせ」を守り育てることが必要です。

まちの未来計画では、この自然と共生した暮らしを守り育て、住民一人ひとりがしあわせを実感できる町を目指し、まちの将来像を「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」と設定します。

(2) 総合戦略の推進のために

①まちの未来計画による「協働のまちづくり」の推進

本町では、これまで自治区や校区コミュニティ、各分野の団体と行政による協働のまちづくりを進めてきました。しかし、近年自治区加入率が減少しており、人口減少や高齢化の進行などにより、活動の担い手が不足し、従来の活動が衰退してしまう懸念があります。

そのような中、令和2年度に策定したまちの未来計画では、これまでまちづくりに参画する機会がなかった住民や企業、町外の人たちを巻き込み、まちづくりの輪を広げることを方針としており、総合戦略においても、その方針に基づき協働のまちづくりを推進していきます。

②社会情勢の変化への対応

令和2年度に策定したまちの未来計画において、計画を推進する中で踏まえるべき主な社会情勢の変化について掲げています。これらは、総合戦略を推進する上においても、意識することが必要となっており、それらの情勢を的確に捉えながら施策を実施する必要があります。

【本町を取りまく社会情勢の変化】

- ・持続可能な社会に向けたSDGsの推進
- ・情報通信技術の急速な進化による Society5.0 の実現
- ・「コンパクト+ネットワーク」による持続可能な都市機能の確保
- ・社会資本(インフラ)の老朽化の進行
- ・災害への備え
- ・新型感染症への備え

③地方創生推進交付金等の活用

総合戦略の推進にあたって、自立性・官民協働・政策間連携等が見込まれる事業について、個別に地域再生計画を策定し、地方創生推進交付金等を活用して事業を実施する。

また、新たな取組として企業版ふるさと納税の受入のための地域再生計画を策定し、従来からの個人を対象としたふるさと納税に加え、企業版ふるさと納税も推進する。

2. 戦略の評価・管理

総合戦略では、6年間の取り組みに対する各政策分野の基本目標を設定するとともに、それぞれの施策について重要業績評価指標(KPI)を設定し、PDCAサイクルを運用して、達成状況を随時評価・検証します。また、総合戦略の最終年においては、まちの未来計画の中間評価に併せて、総合戦略の成果検証を行います。

IV 戦略施策

1. 施策体系

基本目標	基本方針
I. 新しい人の流れをつくる	
1 町外者の岡垣町に対する認知・関心を高める	【1】岡垣町の魅力を発信する
	【2】観光交流の拡大により岡垣町に訪れる機会をつくる
2 岡垣町への定住を促進する	【1】定住希望者を誘致するため、町の魅力を発信する
	【2】定住を促進するための環境を整備する
II. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
1 子どもを産み・育てやすい環境をつくる	【1】安心して子育てができるまちをつくる
	【2】未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちをつくる
III. 地場産業を活性化するとともに、安心して働けるようにする	
1 雇用を創出する基盤をつくる	【1】新たな企業の立地を誘導する環境を整備する
2 地場産業を活性化する	【1】商工業を支援し地域経済を活性化する
	【2】農業・漁業を守り、育てる
IV. 安心して暮らすことができる地域をつくる	
1 住民のまちへの愛着を高める	【1】豊かな自然を守り、育てる
	【2】おいしい水、きれいなまちを守る
2 成熟した都市の再生を推進する	【1】成熟した都市の再生を推進する
3 安心して暮らせる地域をつくる	【1】住民とともにまちづくり活動を広げる

2. 戦略施策

I. 新しい人の流れをつくる

1 町外者の岡垣町に対する認知・関心を高める

■ 基本方針1 岡垣町の魅力を発信する

■ 施策1 町の魅力を発信します		
● マスコミやSNSなど幅広い手法を活用したプロモーションにより、町の魅力を広く町内外へ発信します		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1 年度実績)	目標値 (R12 年度)
まちの認知度(県内) ※岡垣町を「知っている」と回答した割合	21.9%	増加

■ 基本方針2 観光交流の拡大により岡垣町に訪れる機会をつくる

■ 施策1 ■ 町の魅力ある観光情報を発信します		
● 自然や食などの町の魅力をSNSなどの媒体を通じて効果的に発信します		
● 観光客や関係人口などの増加を目指し、観光に関する情報発信を強化します		
● 筑前玄海エリアなどの各市町との広域的な観光連携を進めます		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30 年度実績)	目標値 (R12 年度)
観光入込客数	570 千人	700 千人

■ 施策2 町の魅力を活かした観光商品を開発します		
● 観光協会と連携し、自然や食などの地域資源を活かした体験型観光の開発など、町内を周遊できるような魅力ある観光ルートづくりに取り組みます		
● マリンスポーツや海沿いのサイクリングロードを活かし、スポーツをターゲットにした観光商品を開発します		
● 近隣の観光ニーズとのマッチングを行い、ワーケーション向けプランや外国人観光客へ対応したプランなど時代のニーズにあった観光商品を開発します		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H30 年度実績)	目標値 (R12 年度)
観光入込客数【再掲】	570 千人	700 千人

I. 新しい人の流れをつくる

2 岡垣町への定住を促進する

■ 基本方針1 定住希望者を誘致するため、町の魅力を発信する

■ 施策1 町の魅力を発信します【再掲】		
● マスコミやSNSなど幅広い手法を活用したプロモーションにより、町の魅力を広く町内外へ発信します		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1 年度実績）	目標値（R12 年度）
まちの認知度(県内) ※岡垣町を「知っている」と回答した割合	21.9%	増加

■ 基本方針2 定住を促進するための環境を整備する

■ 施策1 定住を促進するための支援に取り組みます
● 計画的な土地利用による住宅開発の誘導を行うとともに、既存住宅の利活用や多世代の同居・近居に対する支援により、子育て世代を中心とした定住の促進に取り組みます
● 空き家等対策計画に基づき、所有者・地域・民間事業者・行政が一体となった取組を行い、空き家の予防と解消に努めます
● 老朽化が進む町営住宅は、入居状況や住民ニーズを踏まえ、中長期的な視点から、そのあり方を検証します

II. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

1 子どもを産み・育てやすい環境をつくる

■ 基本方針1 安心して子育てができるまちをつくる

■ 施策1 安心して子育てができる環境をつくります

- 子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点を中心とした総合的な子育て支援を促進するとともに、妊娠期から子育て期にわたる、健康管理や相談支援・養育支援などの充実を図ります
- 子どもの発達状況に応じた巡回相談などの相談体制や保育・教育環境整備を行い、子どもの健やかな成長を支援します
- 子どもの将来が生まれ育った環境に左右されないよう、子どもの成長段階や家庭環境に応じた生活支援、学習支援や経済的支援などを進めます
- 保育需要の高まりに対応できるよう、保育士の確保など保育体制を整備します
- 待機児童の解消に向け、認定こども園などの設置や民間保育所の定員の拡大などの取組を支援します
- こども未来館では、子どもの遊びの場を提供し、健やかな成長を促進します。また、親子遊びを通じた子育て家庭の相互の出会いの場をつくとともに、子育て支援グループなどの活動を支援することで、子育てへの不安を解消し、子育て家庭の孤立を防ぎます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1 実績)	目標値 (R12 年度)
子育て支援施策に対し「満足」「やや満足」とした割合	29.2%	34%
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R2 実績)	目標値 (R12 年度)
待機児童数	25人	0人
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1 実績)	目標値 (R12 年度)
こども未来館での子育て支援事業に対し「満足」「やや満足」とした割合	28.6%	33%

■ 施策2 母子の健康づくりを支援します

- ワクチンで防げる病気から子どもを守るために、定められた期間でのワクチン接種を促すなど、定期予防接種の啓発などに取り組みます
- 乳幼児健診や訪問などにより、母子の健康状況を把握し、適切なアドバイスを行います。また、必要に応じて相談や支援サービスの利用などを促進します

■ 基本方針2 未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちをつくる

■ 施策1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育を推進します		
<ul style="list-style-type: none"> ● 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成に取り組み、子どもの個性や能力を伸ばす教育を推進します ● 英語教育やICTを活用した教育の推進により、社会情勢に対応した資質や能力を育てます ● 指導主事・スクールカウンセラーなどの配置により、児童生徒のいじめや不登校などに対する教育相談・指導体制の充実を図ります ● 児童生徒の障害や発達の状態に応じた特別支援教育を推進します 		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1 年度実績)	目標値 (R12 年度)
英検3級相当生徒の割合(中学3年生)	46.2%	50%

■ 施策2 地域特性を活かした学校教育を推進します		
<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境学習などの特色ある教育を推進し、児童生徒が町の魅力である自然環境にふれ、学ぶ機会の充実を図ります 		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1 年度実績)	目標値 (R12 年度)
岡垣町について、「とても好き」「ある程度好き」とした割合 ※中学生アンケート	72.8%	増加

■ 施策3 家庭・学校・地域が連携し、子どもを育てます		
<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティ・スクールの取組の充実を図り、学校と地域のつながりを深めます ● 通学合宿「夢の体験塾」など、子どもがふるさとの良さにふれる体験活動や地域での活動を通じて、子どもの自主性を伸ばす取組を促進します ● PTAを中心とし、地域と連携を図り、家庭教育を支える取組を進めます ● 社会教育団体と連携し、青少年の健全育成に取り組みます 		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1 年度実績)	目標値 (R12 年度)
岡垣町について、「とても好き」「ある程度好き」とした割合 ※中学生アンケート【再掲】	72.8%	増加

Ⅲ. 地場産業を活性化するとともに、安心して働けるようにする

1 雇用を創出する基盤をつくる

■ 基本方針1 新たな企業の立地を誘導する環境を整備する

■ 施策1 利便性の高い道路交通ネットワークをつくります

- 国道3号岡垣バイパスの4車線化の早期完了に向けて、整備促進期成会と連携し、継続的に関係機関への働きかけを進めます
- 都市計画道路など主要な幹線となる県道原・海老津線バイパスと県道岡垣・宗像線バイパスの整備に向けた取組を進めます

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R2 年度実績）	目標値（R12 年度）
都市計画道路の整備率	68%	95%

Ⅲ. 地場産業を活性化するとともに、安心して働けるようにする

2 地場産業を活性化する

■ 基本方針1 商工業を支援し地域経済を活性化する

■ 施策1 商工業者の経営を支援します		
● 商工業の振興や安定経営を支援するため、制度融資などによる経営支援を図るとともに、商工会などと連携し、社会情勢に応じた活性化策に取り組みます		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H29 年度実績)	目標値 (R12 年度)
製造品出荷額	13,661 百万円	18,000 百万円
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27 年度実績)	目標値 (R12 年度)
商業年間販売額	22,684 百万円	25,000 百万円
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27 年度実績)	目標値 (R12 年度)
売上金額(民営)	74,846 百万円	80,000 百万円

■ 施策2 新たな企業の誘致、起業・創業の支援に取り組みます		
● 本町の立地や特性を活かすことができる企業の誘致を進めます		
● 新たな起業・創業や地元企業の事業拡大などを支援し、雇用を促進します		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H29 年度実績)	目標値 (R12 年度)
製造品出荷額【再掲】	13,661 百万円	18,000 百万円
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27 年度実績)	目標値 (R12 年度)
商業年間販売額【再掲】	22,684 百万円	25,000 百万円
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27 年度実績)	目標値 (R12 年度)
売上金額(民営)【再掲】	74,846 百万円	80,000 百万円

■ 基本方針2 農業・漁業を守り、育てる

■ 施策1 農業・漁業の生産基盤を守ります

- 農業生産の基盤となる用排水路、農道、ため池などの補修や維持管理を進めます
- 漁業施設の生産基盤を維持管理するとともに、有効活用を図ります

■ 施策2 農業経営・漁業経営を支援し、担い手を育成します

- 農業生産の向上につながる先進技術や省力機械の導入、大規模化に対する支援など、農業経営の改善を支援します
- 中山間地域の農地を守るため、直接支払制度などを活用し、営農の継続を支援します
- 有害鳥獣対策として、駆除や電気柵を設置するための支援などにより、被害の軽減を図ります
- 町内における農地の有効活用や農業経営の安定化を図るため、新規就農者の育成に取り組みます
- 漁場の藻場回復や漁業従事者の育成など、漁獲量の増加に向けた取組を進めます
- 漁業の生産基盤である漁場の保全や根付漁業などの振興を図ります

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R2 年度実績）	目標値（R12 年度）
農業産出額	1,360 百万円	1,400 百万円
重要業績評価指標（KPI）	基準値（H30 年度実績）	目標値（R12 年度）
漁獲量（陸揚高）	53 百万円	現状を維持する

■ 施策3 地産地消に取り組みます

- 町内販売施設において、地元農水産物の販売の拡大を支援します
- 地元食材を取り入れた学校給食を提供します

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R2 年度実績）	目標値（R12 年度）
農業産出額【再掲】	1,360 百万円	1,400 百万円
重要業績評価指標（KPI）	基準値（H30 年度実績）	目標値（R12 年度）
漁獲量（陸揚高）【再掲】	53 百万円	現状を維持する

IV. 安心して暮らすことができる地域をつくる

1 住民のまちへの愛着を高める

■ 基本方針1 豊かな自然を守り、育てる

■ 施策1 三里松原と美しい海岸を守ります		
<ul style="list-style-type: none"> ● 海岸浸食や松枯れ対策など、海岸の保全・維持管理・整備を国や県とともに推進します ● 住民・団体・企業などと連携し、美しい海岸の保全に取り組みます 		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1 年)	目標値 (R12 年度)
町の自然環境のよさに対し「満足」「やや満足」とした割合	63.7%	70%

■ 施策2 豊かな緑と清らかな河川を守ります		
<ul style="list-style-type: none"> ● 森林の間伐、竹の伐採、植樹活動により、荒廃した森林の再生に取り組みます ● 清掃などの環境美化活動や水質の監視を行い、水質悪化を防止します ● 森林や河川の保全に取り組む団体と連携し、意識啓発に取り組みます 		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R2 年度実績)	目標値 (R12 年度)
再生すべき荒廃森林面積	304ha	全て解消

■ 施策3 多様な生物が生息する環境を保護します		
<ul style="list-style-type: none"> ● アカウミガメをはじめとした絶滅危惧種の保護活動に取り組みます ● 生態系や人の生活などに被害を及ぼしている特定外来生物を防除します 		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1 年)	目標値 (R12 年度)
町の自然環境のよさに対し「満足」「やや満足」とした割合【再掲】	63.7%	70%

■ 施策4 自然とふれあう機会をつくり、人の輪を広げます		
<ul style="list-style-type: none"> ● 住民に対し、町の豊かな自然とふれあう機会を提供し、環境を守る意識を啓発します ● 自然を守るボランティア活動団体と連携し、環境保全を実践する人材育成に取り組みます ● 海岸清掃や植樹活動などの取組を情報発信し、住民・団体・企業などの環境保全活動への参加を拡大します 		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1 年)	目標値 (R12 年度)
町の自然環境のよさに対し「満足」「やや満足」とした割合【再掲】	63.7%	70%

■ 基本方針2 おいしい水、きれいなまちを守る

■ 施策1 おいしい水を安定して供給します

- 耐用年数を迎える老朽管や老朽施設を計画的に更新します
- 「水のおいしさ」を、町公式ホームページや広報おかがき、イベントなどを通じて町内外に幅広くPRし、定住・交流・関係人口などの増加につなげます

■ 施策2 美しい都市景観をつくります

- 緑化された公共施設、都市公園などの広場の維持管理に取り組みます
- 景観を阻害する違法広告物の撤去の実施や空き地などの適切な管理を促進します

IV. 安心して暮らすことができる地域をつくる

2 成熟した都市の再生を推進する

■ 基本方針1 成熟した都市の再生を推進する

■ 施策1 都市の再生に向けた土地利用を進めます

- 人口減少下における町全体の土地利用の方向性を定めるため、国土利用計画や都市計画マスタープランの見直しを行います
- 地域の特性に応じ、計画的な土地利用による持続可能な都市づくりを進めるため、立地適正化計画を策定します

重要業績評価指標（KPI）	基準値（H27 年度実績）	目標値（R12 年度）
用途地域内人口	24,698 人	24,005 人

■ 施策2 新しい公共交通体系を構築します

- 民間路線バスやコミュニティバスは、住民のニーズを反映した利用状況や民間事業者の動向を踏まえ、新しい公共交通体系を構築します

■ 施策3 海老津駅周辺の活性化に取り組みます

- JR海老津駅周辺は、民間活力を活用して交通拠点機能の強化、まちなか居住の推進、回遊・交流・集いの場づくりをテーマとして、活性化に取り組みます
- JR海老津駅を快適に利用できる環境整備に取り組みます

IV. 安心して暮らすことができる地域をつくる

3 安心して暮らせる地域をつくる

■ 基本方針1 住民とともにまちづくり活動を広げる

■ 施策1 地域コミュニティ活動を促進します

- 地域コミュニティ活動の基盤となる自治区への加入促進を図るとともに、自治区の自主的な活動を支援します
- 校区の実情に合わせ、自治区単位では解決しづらい課題に対して、課題解決に向けた取組を行っている校区コミュニティを支援します
- 自治区と連携し、住民が地域コミュニティ活動に参加しやすい環境整備や人材育成に取り組みます

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R2 年度実績)	目標値 (R12 年度)
自治区加入率	81.7%	88%

■ 施策2 自主的なボランティア活動・コミュニティ活動を促進します

- ボランティアセンターを中心に、ボランティア人材の育成、様々なボランティア団体への住民参加や地域コミュニティを含む団体間の連携拡大に向けた取組などをコーディネートします
- 若い世代などを中心に、これまで参加経験がない住民のボランティア活動への参加を促進します

■ 施策3 自助・共助による防災活動を促進します

- 災害時の情報伝達手段となる地域情報伝達無線システム(でんたつくん)や緊急防災無線システムを適切に運用します
- 総合防災マップにより、災害のリスク・防災に関する情報を周知し、住民の防災意識を高めます
- 災害時、地域での初動対応や避難に配慮が必要な人たちの避難などを円滑に進めることができるよう、防災訓練の実施を支援するなど各自治区における自主防災組織の活性化を図り、地域の防災力を強化します

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R2 年度実績)	目標値 (R12 年度)
自主防災組織の設立自治区数	32 自治区	44 自治区
重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R2 年度実績)	目標値 (R12 年度)
避難行動要支援者制度登録者のうち、支援員がいる人の割合	35.6%	50%

■ 施策4 地域の犯罪を抑止します

- 犯罪を防止する環境を整えるため、防犯意識の高揚に向けた啓発活動、防犯灯の維持管理や防犯カメラの整備を進めます
- 各団体で取り組んでいる防犯パトロール活動を引き続き支援します

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1 年度実績)	目標値 (R12 年度)
刑法犯認知件数人口千人当たり発生件数の県内順位	9 位	8 位以内